

9月13日(月)

11時45分福岡国際空港発の飛行機にて5時間弱でバンコク、スワナプーム空港に到着。空港には Wini 牧師と教会スタッフと友人が迎えに来てくれてインマヌエル教会へ。

3月から5月にあった大規模なデモのことについて聞くと、「教会の周りの道が封鎖されていて、教会スタッフは教会に寝泊まりしどこにも行けず、みんなが仕事を休んでいたのに休めなかった。」と冗談半分で言っていた。また、服を売っている友人は「こんなにたくさん休める時は無いから寝たい時に寝て食べたい時に食べて、ゆっくり休めたけど、2か月もすると飽きたね。」などとあまりシリアスな状況ではなかった様子。Winit 牧師も「時間ができたから何十年かぶりにたくさん絵を描いた。」とのことでした。

もちろん良い時間だったというだけでなく「怖かった。」「不便だった。」「爆発音を聞いた。」「教会員が乗った電車が通りすぎてすぐに線路が爆破された。」「礼拝出席が86人(普段の3分の1くらい的人数)で礼拝を持った日もあった。」「みんなで祈りに祈っていた。」ということだった。どのような状況でも主に感謝し、主に祈って歩んでいたということが分かる。

9月14日(火)

8時半～10時 教会スタッフのディボーションの時間。讚美し、聖書を読み、メッセージを聞く。

デモの爪痕を見て歩く。いつも観光客でいっぱいだったデパートと市場のある中心地が、デパートが2つ焼かれて閉まっていて、観光客も減っていて、以前の雰囲気とは違う空気になっていた。

バンコクの街を歩くと物乞いに会う。マフィアがらみなのでお金をあげてはいけないと言われている。このデパートに行く途中に両手両足が無い人が座っていて、いつも心を痛めていた。今回、両手両足が無いと思っていた人が服を自分で着ているところに遭遇した。両手両足があった・・・騙されていたと思う反面、良かったと思った。



9月15日(水)

8時半～10時 教会スタッフとディボーション。

11時 日高龍子先生と待ち合わせをして、女性連合から預かってきた NCC の献金(サマリアの家へ)をお渡しする。食事をしながら分かち合いの時をもつ。

18時～20時 インマヌエル教会祈祷会



9月16日(木)

8時半～10時 教会スタッフとディボーション。

6月30日に亡くなった23歳の青年のお墓を訪ねる。車で1時間半くらいの場所にあるキリスト教墓地。お墓が完成後訪ねたのは初めてということだった。祈りをもって別れる。

教会に帰ると、Winit 牧師が特別講義をしてくださる。タイ語を使って旧約、ヘブライ語の学び。以前より話分かるようになったのは西南での学びの成果だと思った。



9月17日(金)

8時半～10時 教会スタッフとディボーション。

10時半 日高龍子先生と待ち合わせて、ラヨンにあるサマリアの家に龍子先生の運転で向かう。

15時 到着。龍子先生と別れて、サマリアの家に滞在する。サマリアの家のスタッフから子どもたちの現状について伺う。1人の子供が昨年亡くなったとのこと。(11歳くらいの女の子) リーダーだった2人が来なくなっている。1人は子どもができて結婚(18歳男の子)、1人は働きに行っている。(16歳女の子)

16時 子どもたち数人の子どもたち11人を迎えに行き、子どものお宅を訪問して食事をごちそうになる。ムーカタ(焼肉としゃぶしゃぶを一緒にできる。)をたくさんいただく。仲の良かった子どもたちが無口で食事をしているのが気になった。スタッフによると「子どもたちの年齢が上がってきて難しくなっている。」とのこと。昨年母親を亡くした兄弟が尖ってきていると思った。



21時半～ サマリアの家に戻って讃美と聖書の学び。ギターを弾ける子どもが来なくなったので、伴奏をできる人がいなくなっている。キーボードで伴奏する。

22時半～ 明日の集会の打ち合わせをして、キーボードで伴奏することになり、ソングリードをする子と練習をする。

23時半～ 明日のお話の準備をする。

24時40分 就寝。



9月18日(土)

7時 朝食を食べて集会準備と伴奏練習。ソングリーダーも初めてする子で緊張している。何度も繰り返し練習をする。

10時 子どもが33人集まり集会をする。讃美、ゲーム、龍子先生の特別讃美、わたしもタイ語でショートメッセージと特別讃美をサマリアの家の子どもと2人です。8月に奉仕で伺った百合ヶ丘教会から預かったプレゼントを渡す。(字のない絵本。フェルトで作ったキーホルダー。福音を伝えるのに使うことができる。)



12時半 帰途につく。

17時 インマヌエル教会着。

18時 今年から始めた英語礼拝に参加する。50名ほどが参加。



9月19日(日)

8時～9時半 モーニングサービス

9時45分～10時45分 分級 Winit 牧師のクラスに参加。

10時45分～12時 礼拝

12時 昼食と交わり

14時 スラム伝道に出かける。



15時 以前借りていた家を出なくてはいけなくなり、向かいに新しい家と集会用の場所を作り変えてから初めての訪問。3週間集会ができなかったので、子どもたちに集会所が新しくなったこと、集会を再開することを伝えて歩く。集まった子どもは11人。

以前は20名～30名集まっていたのに、子どもたちが来なくなっているということ。

他の2つのスラム伝道にはもっとたくさん子どもが集まっているとのこと。



17時半 スタッフたちと食事をする。

19時半 教会に戻る。

9月20日(月)

おみやげとタイ語の勉強グッズを買う。

友人親子の誕生日会。

21時 教会の車で先生と、スタッフと、友人が空港まで送ってくれる。6年前に共に津波の被災地を訪ねた先生とスタッフと、このように親しくタイ語で話することができるようになるとは考えてもいませんでした。主の導きを改めて感じました。

22時 チェックインを済ませてから祈っていただき、帰路につく。

9月21日(火)

8時 福岡空港着。寮に帰り友人の告別式3日分のDVDを3時間かけて見る。たくさんの方が代わる代わる彼との思い出を語っていた。主に仕え人に仕え、誰に対してもやさしく笑顔で愛された人生であったのだと感じた。

おまけ。[20時 寮にて夏季研修報告会が行われました。神学生それぞれの夏季研修報告を聞き、タイの報告もすることができました。] お祈りありがとうございました。